

定 例 教 育 委 員 会【議 事 録】

日 時 令和6年4月12日（金）
15時00分～

場 所 岡谷市役所2階 202会議室
署名委員 林委員、藤森委員

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

- 1.令和6年度 岡谷市教育委員会基本方針について【資料 No.1】 (各課)

○ 報 告

- 1.令和6年度教育委員会事務局職員定期人事異動について【資料 No.2】 (各課)
2.令和6年度教育委員会予算について【資料 No.3】 (各課)

○ そ の 他

- ・行事等について（各課）
- ・その他

出席委員

教育長 宮坂 享、教育長職務代理者 太田 博久、教育委員 藤森 一俊、
教育委員 林 慎太郎、教育委員 轟 美緒

事務局（説明員）

教育部長 白上 淳、教育担当参事 両角 秀孝、教育総務課主幹指導主事 濱 敦志、
生涯学習課長 白田 研一、スポーツ振興課長 小松 隆広、
教育総務課学校教育主幹 味澤 勝一、教育総務課教育企画主幹 西山 塁、
川岸学園整備室川岸学園整備主幹 新村 尚志、教育総務課主任 大島 俊輔

<会議録>

○開 会

宮坂教育長：

それでは、ただいまより令和6年4月定例教育委員会を始めます。本日の署名委員は林委員と藤森委員にお願いいたします。

○教育長報告

宮坂教育長：

はじめに私から報告をします。

19日に「穀雨」という二十四節季を迎えます。恵みの雨がたっぷりと降り注ぐ頃、というまさに字のとおりでございますが、それとは別に「雨粒百穀」という言葉があります。雨粒が百の穀物を育てるという意味です。種蒔きや田植えを始める時期になってまいりました。

桜に関連する便りですが、4月10日に横河川沿いの桜並木の開花宣言がございました。春爛漫です。また3月27日に岡谷図書館を訪れたところ入口に「ロトウザクラ、明日開花予定」という表示がございました。一足先に私の心に春が来たような気持ちになりました。

子どもたちの姿から報告をします。卒業証書授与式及び入学式での告示につきまして、ありがとうございました。小中学校ともに、子どもたちの歌声が響き、呼びかけがあり、当たり前前の卒業式が戻ってきました。ある中学校では、式途中から泣いている生徒が何人もいたのですが、卒業生の合唱が始まると声を上げて泣き始める生徒がいました。すると横の生徒が背中をさすってくれました。とても良い光景だと思いました。3年生が退場するときも、全員が退場するまでかなりの時間がありますが、1、2年生は一生懸命拍手をしておりました。

不登校児童生徒への配慮が各校で見られ、全員を大切にしている学校の姿を見ることができました。

4月4日には入学式がございました。中学校では中学生らしい凛とした姿があり、先生のお話を聞きながら聞く姿が心に残りました。小学校では先生方のチームワークの良さや、6年生の所作の素晴らしさを見ることができました。子どもたちの姿からも啓発され、より一層子どもを真ん中に置いた教育を展開していくと心新たに誓ったところです。

続きまして、生涯学習課から旧林家住宅のひな人形の展示と、4月29日に開催されるシルクフェアの2つの行事について報告させていただきます。

はじめに、ひな人形の展示ですが、歴史ある建物内に市民より寄付を受けたひな人形、約200体が飾られており、座敷には江戸時代から昭和までの押し絵びなや段飾りなどが並び、切れ長の目が特徴の享保びななども飾られ、ひな人形の歴史を感じることができる展示となっております。

宮坂教育長： す。

先日、私も見てまいりましたが、旧林家住宅とひな人形がとても調和しておりました。遠方から来てくださった方もいらっしゃったようです。

次に、シルクフェアについてありますが、今年も4月29日の祝日に、市内16箇所を会場として「2024シルクフェアinおかや」を開催します。

旧林家住宅では、バイオリンとピアノ デュオのコンサートと、岡谷市吉祥会の皆さんによる呈茶のサービスが行われます。去年は200人を超える大勢の皆様にご来館いただき、大変好評をいただきました。市の文化財の素晴らしさ知っていただく、大変貴重な機会ですので、多くの皆様に足を運んでいただければと思っているところであります。

最後にスポーツ振興課関連で報告させていただきます。

毎年の恒例行事であります「岡谷市スポーツ少年団」の総合開会式が、4月7日に市民総合体育館で行われました。スポーツ少年団に加盟している野球、バレーボールなど5競技・8団体から、団員指導者等約230名が参加し、団員同士の結束や親交を図りました。

式では子どもたちが進行役を担うなかで、代表選手からの選手宣誓や「団員綱領」の朗読が行われ、今季の意気込みや心構えを確認しました。

スポーツ少年団は、スポーツを通して青少年のこころとからだを育てることを理念に掲げ、多岐にわたる活動を展開しております。子どもたちが多くのことを学び、心身の成長を見せてくれることを大いに期待しているところであります。団員、指導者にとって、素晴らしいシーズンとなりますよう心から願っております。

私からの報告は以上であります。それでは本日の議題に入ります。

議題1「令和6年度 岡谷市教育委員会基本方針について」を事務局からお願いします。

○議 題

1. 令和6年度 岡谷市教育委員会基本方針について

＜資料1に基づき、事務局より説明＞

藤森教育委員： 資料に「相即不離」という言葉があります。あまり聞きなれない言葉ですが、この言葉を用いられた具体的な思いや、施策との結びつきについて、教えていただけますでしょうか。

宮坂教育長： 知的な部分での学力と、心や体の成長は離れることが無く、車の両輪のような関係にあると感じています。学力だけが独り歩きするのではなく、

宮坂教育長： 心や体も成長し、笑顔ある子どもたちの成長を願って用いた言葉です。

事務局（両角）： 学力保障と成長保障は切り離すことができない関係性であり、その中で学校教育が営まれています。「相即不離」という言葉は基本計画における最も大切なテーマ、理念として使っております。教育大綱を初めて作った年から、学力保障と成長保障を基盤とした基本方針を掲げております。

藤森教育委員： 基本方針ということで、関係する多くの方々に周知をしていただいていると思います。改めてお話を伺って、腑に落ちるところがありましたので、今日のお話も補足として付け加えていただければより良いと思います。

宮坂教育長： 市の校長会、教頭会でもこの基本方針につきましては大切にしております。他に質問等ございますか。

林教育委員： 資料の右上に『岡谷のひと』づくりという図がございますが、これは岡谷市行政全体での事業をイメージした図でしょうか。それとも教育委員会での活動をイメージした図でしょうか。また家庭の力という文言がありますが、これは基本方針とどのように繋がってくるのでしょうか

事務局（両角）： 岡谷市教育大綱に岡谷市が目指す教育の姿としまして「子どもたちの有用感に満たされた幸せの実現に向け、一人ひとりの人生の礎となる、確かな学びと成長の支えにより、自己肯定感と自己有用感を醸成するとともに、共生社会を生き抜き、創造性溢れる、豊かな感性と人間性を育みます。また、生涯を通じて学び続け、スポーツに触れ、親しむ環境づくりを推進するとともに、地域に根ざす『ひと、もの、こと、こころ』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。更に、主体的に取り組み、分かり合えるひと（自己）の力を育み、多様性に富み、魅力と活力ある学校の力、共生社会を支える地域の力、ひとづくりの根幹を担う家庭の力の充実を図り、互いに連携しながら、行政との協働により、『岡谷のひとづくり』を推進します。」とあります。基本方針にある図は、この理念をイメージ化したものです。「ひと」が輝くために学校、地域、家庭がバランスを取り合い、支えるのは行政であることを示した図になっております。

轟教育委員： 学校教育の部分で、「教育DX推進と学校ICTの活用」とあります。過去にICT先進国のスウェーデンでは、ICT機器の活用により学力が落ちてしまったという報告が出ているようです。幼少期からICTを推進しすぎる傾向は危惧されていた部分でもあります。日本のこれまでの教育はアナログな部分もありますが、アナログならではの良さもあり、それが失われてしまうことも心配です。アナログ的な学習の良い部分を残しつつ、うまくICTを取り入れることができれば良いと感じています。

事務局（両角）： 何でもパソコンでやる社会になると、今まで自分で考えて書くことからどんどん離れてしまいます。そのような環境は、情報化の目指すところではないと思います。我々の目指すところは、黒板に書く先生たちの教育の姿も大事にして、座学という授業のあり方はこれまでと同様大切に、そこにどのように肉付けをしていくか、紙ベースの部分にプラスアルファでデジタルが加わってくる。これがデジタル化の肝だと思っています。

宮坂教育長： デジタル化だけでなく、実体験で学ぶことも大切と感じております。基本方針にもありましたが、例えば命の教育では、自分たちで実際に活動しながら思ったことを発表し合い、ともに意見を取り入れて自分の意見を膨らませることも大切です。

太田教育長職務代理者： 教育DXの推進に関わる部分で、機器の更新とあります。具体的には学校のデジタル機器を更新するということでしょうか。

事務局（両角）： 例えば、先生たちが使っているパソコンや、パソコン教室に置いてあるパソコンや通信機器、そういったものの契約上の更新で、学校にリースで入れている機器などを新しいものに置き換えていきます。そのパソコンの期間満了が、令和7年秋を予定しており、更改と言いますが本年度からそこをやっていきます。GIGAスクール端末が入ってくるより前にあったパソコンもあります。ソフトも含めてどうしていこうか、検討が必要です。

太田教育長職務代理者： 心の醸成に関わる部分ですが、市内小学校6年生が、阿智村の満蒙開拓平和記念館で平和体験研修を行うとのことで、大賛成です。長野県岡谷市ならではの良い取り組みだと思います。岡谷独自の取り組みを市民の皆さんにも広く周知していただきたいですし、可能なら市民の皆さんも満蒙開拓平和記念館を訪れるような流れができれば素晴らしいです。広報に児童の感想を載せるのも方法の1つだと思いますのでご検討いただければ幸いです。

次に「地域とともに歩む」に関わる部分ですが、コミュニティスクールと大きく絡む部分になると思います。このコミュニティスクールですが、全校にあるのでしょうか。

事務局（両角）： 長野県の中では国型の協議会方式を採用している学校も増えてきていますが、岡谷市は信州型コミュニティスクールということで、従来からあるボランティア、見守り隊や読み聞かせ、居場所づくり、様々な関わりを持っている地域の皆さんをつないで連合組織にしたのが学校運営委員会という組織です。それが岡谷市のコミュニティスクールです。市内全校で同じように出来上がっていますので、形態が学校によって少し違う場合がありますが 全校に同じようなコミュニティスクールの会があります。

太田教育長職務代理者： 課題の一つとして、学校に携わってくれている地域の皆様の高齢化があり、ボランティア等を担ってくれる次の世代がなかなか見つからないということがあると思います。PTAの方たちも役員をやっているときは、コミュニティスクールの構成員として関わってくださいますが、役員が終わると徐々に関わりが無くなってしまいます。単年度で役員が変わる仕組みなのでそれは仕方のない部分とも思いますが、役員が終わるタイミングでボランティア等にも興味を持っていただけるようなバックアップができれば良いと思います。

次に生涯学習課の部分で、開催をしていただいている講座につきまして、なかなか新規の参加者が少ないイメージです。講座の動画配信についても触れてありますが、動画配信なら参加できる方もいらっしゃると思いますので、意識的に周知をしていただければと思います。

スポーツ振興課についてですが、指導者講習会の開催とありますが、中学校部活動の地域移行に向けた取り組みは具体的に何を想定されていますか。

事務局（小松）： 教育総務課と連携して検討委員会を開催しております。具体的な部分を現在検討中です。

太田教育長職務代理者： 現時点で、指導者講習会は部活動の指導者に向けたものではないということでしょうか。部活動の地域移行でも活かせる内容だと思いますので、地域移行も意識して講習会をしていただければありがたいです。

藤森教育委員： 生涯学習課の内容につきまして、7つの重点項目があります。2つ目の家庭・地域の教育力向上があります。子どもたちの学校教育にまさに相即不離であると思います。親同士の交流できる機会確保に向けた施策はこれから出てくるのだと思いますが、この部分はやはり大切です。個人的にPTAは生涯学習の場であるべきと感じております。親が子どもの心の成長についてともに学ぶことが大切です。生涯学習を進めるなかで、現時点での思いや考えを教えていただけますでしょうか。

事務局（白田）： 生涯学習課の全担当、例えば生涯学習担当や美術考古館、図書館がありますが、イルフプラザのこどものくにとも連携をしながら家庭の支援を進めていきたいと思っております。

藤森教育委員： 学校も現場だけでなく地域の方と繋がって支えていく必要があると思います。学校教育と生涯学習は別ですが、学校教育の中で生涯学習が果たしていく役割は大きいです。我々も協力しますのでよろしくお願いします。

事務局（白上）： 地域との関わりにつきまして、例えば地域の子ども会なども、子どもの

事務局（白上）： 成長においてとても大切です。今まではコロナの影響で活動できていない時期もありましたが、最近出できるようになってきました。子ども会の活動は高校生が主体的にやってくれており、これからもっと活動が増えてくると思います。

太田教育長職務代理者： 不登校への支援についてですが、今年度新設された不登校支援コーディネーターにつきまして、どのような方がコーディネーターになられるのでしょうか。

事務局（両角）： 元校長先生にお願いをしております。昨年度までは宮坂教育長が学びの創生・連携支援室の職員だったのですが、教育長就任で欠員となり、後任の先生が入られました。特に不登校に力を入れていくということで、令和6年度より不登校支援コーディネーターとしてお願いをしております。

轟教育委員： 先日松本の方から聞いた話なのですが、小学校の卒業式で来年度からPTAの活動が一切無くなるという話を聞きました。そのため、役員決めも無いですし、PTA会長のお話も無くなり、非常にシンプルな卒業式になるようです。岡谷市はどのような状態なのでしょうか。

事務局（両角）： PTA活動は任意の皆さんにより組織されていますので、少なくとも行政や教育委員会がこうあるべきだ、ということを申し上げるものではございません。これが前提です。任意による組織でありますので学校や地域ごとにお考えはあると思います。松本地域はそのような議論が盛り上がって、今後のあり方について皆さんで検討されて答えが出てきたのだと思います。岡谷市でもPTAの議論の中でそういうことがあるかもしれませんが、現状そういう話題が出てきているということは市教育委員会には届いておりません。

宮坂教育長： ありがとうございます。それでは「令和6年度 岡谷市教育委員会基本方針」を教育委員会として承認したいと思いますがよろしいでしょうか。

《承認》

続きまして、報告事項1「令和6年度教育委員会事務局職員定期人事異動について」、事務局より説明をお願いします。

○報告事項

1. 令和6年度教育委員会事務局職員定期人事異動について

<資料2に基づき、事務局より説明>

宮坂教育長： 何か質問等ありますでしょうか。

《委員から質問無し》

宮坂教育長： それでは続きまして、報告事項2「令和6年度教育委員会予算について」、事務局より説明をお願いします。

2. 令和6年度教育委員会予算について

＜資料3に基づき、事務局より説明＞

宮坂教育長： 何か質問等ありますでしょうか。
《委員から質問無し》
それでは続きまして、「その他」を、事務局よりお願いします。

○その他 ・行事等について（各課）

＜各課より行事予定について説明＞

宮坂教育長： ありがとうございます。
その他連絡事項等ありますでしょうか。
今までのところで何かご意見等はございますか。

宮坂教育長： 本日本定しました議題は以上ですが、全体を通して何か質問等ございますか。
教育委員さんから何か報告事項等ございますか。
それでは事務局より次回の開催予定についてお願いいたします。

事務局（両角）： 次回の定例教育委員会は
5月10日（金）9時30分から市役所605会議室を予定しています。
よろしくお願いいたします。

宮坂教育長： ありがとうございました。
以上を持ちまして本日の定例教育委員会を終了とします。

16時40分 終了